

令和7年12月1日

それぞれの想い



校長 松島 啓泰

10月29日～11月5日までの三者面談期間では、お忙しい中、保護者の皆様に足を運んでいただきありがとうございました。また、予定通りに面談が進まなかつたこともあったかと思います。ご都合をつけていただき感謝申し上げます。そのような中ではございましたが、有意義な時間になったでしょうか。十分な話し合いができましたでしょうか。これからも学校と保護者様の共通理解のもと、子どもたちの思いを尊重しつつ、子どもたちの成長を見守って参りたいと思います。今後とも保護者の皆様のご協力をいただきながら教育活動を行っていきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

11月13日に、教育講演会がありました。この講演会は、八木が谷地区自治連絡協議会会長としてご活躍された、故・宮沢 博 様が、生前にご企画くださったものを現八木が谷地区自治連絡協議会の方々が受け継いでいただきました。講演会の内容は、現在、和楽器（尺八・三味線・和太鼓等）の可能性を広げるため地域イベントや舞台公演、学校・教育機関での演奏をするなど幅広く活動をしている邦楽ユニット NITAKA の皆さんでした。伝統民謡、オリジナル曲、そして古典から現代曲まで多彩なレパートリーを独自のアレンジで演奏をするなど若い世代にも届く、エンターテイメント性と芸術性を追求しているそうです。

今年度の講演会は、インフルエンザの流行のため2学年閉鎖、1学年1クラス・3学年1クラスの学級閉鎖があり全校揃ってではありませんでしたが、多くの地域の方々に参加いただきました。演奏が始まると、和楽器の演奏とは思えないほどの迫力があり、実演を間近で見ていた生徒のみならず職員、地域の方々も興味をもって参加していました。特に、生徒たちは、曲想に合わせて手拍子等楽しんでいたようです。

宮澤様には、長きにわたり学校運営協議委員として学校運営にお力添えをいただき、また、教育講演会の企画・運営にも多大なご尽力を賜りました。今回の講演会が最後となってしまいましたことは大変残念でございますが、これまでのお力添えに心より感謝申し上げます。

このたびのご逝去に際し、心よりお悔やみ申し上げるとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。